発行者: アルバータ大学 高円宮 日本教育・研究センター カナダ アルバータ州 エドモントン市、アルバータ州立大学 ペンビナ・ホール311号室 T6G 2H8 電話: 1-780-492-1569 Fax: 1-780-492-7440 ホームページ:

高円宮殿下日本カナダ記念基金

nttp://www.uofaweb.ualberta.ca/takamado/

第3号

2010年11月

ニュースレター

ON THE COVER

I. 第一回日本・カナ ダ学術コンソーシ アム・学生フォー ラム

INSIDE THIS ISSUE

- II. 高円宮記念基金と カナダアドバイザ リー委員会近況報 告
- **III. PTJCMF**学生モビリ ティプログラム受 賞者
- IV. 今後のPTJCMF イベント
- V. カナダ日本研究 ネットワーク (CANJAS)報告

高円宮殿下日本カナダ記念基金(PTJCMF)は、長年アルバータ大学及びカナダの大学教育に多大な貢献をされた故高円宮殿下を記念して設立されました。カナダのクイーンズ大学での3年間のご留学後、国際交流基金にご勤務され、世界各国での日本語及び日本文化の振興にご寄与されました。この記念基金は学生のモビリティ(移動・往来)を奨励・支援し、日本分野の新しい教育方法、研究や文化交流プログラムを助長することにより、日加関係を強化することを目標としております。

I. 第一回日本・カナダ学術コンソーシアム・学生フォーラム (2010年2月15-22日)

日本・カナダ学術コンソーシアム・学生フォーラムは、高円宮日本センターが在カナダ事務局として主催した最初のイベントです。このフォーラムは、国際交流基金、カナダ政府、在日本カナダ大使館、日本外務省、及び明治大学からの支援を受けて開催され、高円宮日本カナダ記念基金も助成を行いました。

日本・カナダ学術コンソーシアム(JACAC)は、日本・カナダの大学の学部生、大学院生、大学研究員、及び教員間の知識交流の促進を目的としています。

2009年2月に、高円宮日本教育・研究センターは、JACACにおけるカナダ側事務局に認定されましたが、以来、今回の日本・カナダ学術コンソーシアム・学生フォーラムを成功に導くため、日本側事務局である明治大学と協力してきました。2010年2月15日から22日までの10日間、カナダの六大学から13人の学生と日本の11大学からの17人が東京に集まり、「環境問題」のテーマについて議論を交わしました。参加した学生たちは、「政策」、「文化」、「経済とビジネス」、「技術」、そして「地方と都市システム」などを課題にグループ研究に取り組みました。

JACAC学生フォーラムには、研究者と大学院生によるカナダあるいは日本視点での研究発表があり、また、発表者の方々には、フォーラムの終わりに行われたグループ発表の準備にかかる学生達に指導にあたっていただきました。各グループが、フォーラムを通してカナダ人学生と日本人学生が協力し、議論し合った内容について発表を行いました。

研究者、大学院生、そして学部生たちが、交流を 通じてそれぞれの研究分野のトピックに関する 議論を交わすと同時に、多文化的見識を深める 貴重な機会になりました。

今回のフォーラムのハイライトの一つは、最終日に東京のカナダ大使館で行われた閉会式でした。閉会式では、参加学生達が高円宮記念基金関係者の方々や政府関係者を含む聴衆の方々の前で発表しました。この閉会式とその後に開かれたレセプションには、高円宮妃久子殿下と駐日カナダ大使、ジョナサン・T・フリード閣下、及びアルバータ大学の卒業生や有志の方々にもご出席いただきました。

[Story Continued Inside]



The entire group of Forum participants included 13 undergraduate students and 8 researchers from Canada, as well as 15 undergraduate students and 7 researchers from Japan.



II. Updates on the PTJCMF and Canadian Advisory Committee

The University of Alberta welcomes Dr. Lesley Cormack as its new Dean of the Faculty of Arts. Dr. Cormack and her team, with support from Anna Biscoe, Senior Development Officer with the Faculty of Arts and Dr. Kaori Kabata, Director of the Prince Takamado Japan Centre, are continuing in their efforts of meeting the fundraising goals of the PTJCMF.

The Canadian Advisory Committee, chaired by Mr. Donald Campbell, former Ambassador of Canada to Japan and Senior Strategy Advisor, Davis LLP, has begun fundraising activities in Canada and hopes to meet its goal of creating a total endowment of \$3 million.

As of March 31, 2010, the book value of the endowment was \$1,489,293.26 and the market value was \$1,399,064.15. Based on this amount, \$57,000 is budgeted for spending in 2010/11. Since March, there has been an additional contribution of \$25,601.24, and the spending allocation for 2010/12 is anticipated to be similar to that in 2010/11.

III. PTJCMF Student Mobility Program Awardees (October 2009 - September 2010)

1st Princess Takamado Essay Contest, November 2009

The aim of the Princess Takamado Essay Contest is to encourage English language study and to facilitate a greater understanding and interest in Canada among Japanese university students.

The theme of the 2009/10 Essay Contest was centered around environmental issues and how Canada and Japan can cooperate to resolve those issues. Ms. Rika Tanaka of Ritsumeikan University received the first place prize for her essay, "Advantages of Canada and Japan Change Environment." Ms. Tanaka received an award of one term at the University of Alberta's English Language Program and \$750 travel allowance. She has decided to start her studies at the UofA in September 2010, and will be extending her stay in the English Language Program until December 2010.

Ms. Erika Saito of Kwansei Gakuin University won the second prize award of program fees for one term in the University of Alberta English Language Program for her essay, "Learning environment from birds." She will be studying at the UofA beginning in July 2010, and has decided to extend her studies until December 2010.

1st Japan Canada Academic Consortium Student Forum, February 15-22, 2010

The PTJCMF supported the travel of Canadian undergraduate students to attend the Forum in Tokyo, Japan. For more a more detailed summary of the 1st JACAC Forum, please see Section I of this newsletter.

JACOS-JAPEX Scholarship in Engineering

The JACOS-JAPEX Scholarship in Engineering is awarded to undergraduate students with superior academic achievement entering the second, third or fourth year of study in Mining Engineering, Petroleum Engineering, Chemical Engineering, Materials Engineering, Geotechnical Engineering, or Environmental Engineering. Beginning in the 2011/12 Academic Year, the University of Calgary will also begin awarding the JACOS-JAPEX Scholarship in Engineering at their institution.



Undergraduate stud<mark>ents at the Japan Canada</mark> Academic Consortium Student Forum, 2010

The following students were awarded JACOS-JAPEX Scholarships in September 2010:

Jennifer Kugler (UA) Clayton Robinson (UA) Jung-Lynn Yang (UA)

Hyun-Seung Lee (UA) Contessa Short (Keyano) Nina Marshall (Keyano) Tyson Swain (Keyano)

IV. Upcoming PTJCMF Events

2nd Japan Canada Academic Consortium Student Forum, February 21-27, 2011

Senior undergraduate student representatives from JACAC member institutions in both Japan and Canada will meet and exchange opinions and ideas on the topic of international trade and economic sustainability. The upcoming forum will be hosted by the Prince Takamado Japan Centre at the University of Alberta. The PTJCMF will provide travel support for the undergraduate students travel from across Canada to Edmonton, Alberta.

The theme of next year's forum is International Trade and Environmental Sustainability, with sub-topics of Biodiversity, Climate Change, and Food Security. Both academic and industry professionals have been invited to give lectures to students at the forum. A field trip to Banff, followed by a closing ceremony in Calgary, Alberta is also planned. For more information about the 2011 JACAC Student Forum, please visit www.ptjc.ualberta.ca.

V. カナダ日本研究ネットワーク(CANJAS)報告

CANJASは、アルバータ大学とカナダ国内の他の六大学(ブリティッシュコロンビア大学、ビクトリア大学、トロント大学、カルガリー大学、セント・メアリー大学、コンコーディア大学)を結んでいます。今年はこれまでに以下のCANJASの講義がビデオ・コンファレンス形式で配信されました。

2009年10月30日

カール・フライデー博士:「名誉の本分:武士のしきたりの中の忠誠、名声と堅実性」

本講義は、10世紀に渡り発展していった「武士のしきたり」の中での武士の名誉や忠誠の概念について検討した。

2010年3月9日

ジョン・ベントレー博士: 「琉球語が語る日本の文語」

文語と琉球語の関係はしばしば誤解されているが、この二つの言語の関係を正しく理解することは言語学、歴史学、文学それぞれの専門家にとって重要である。本講義では、琉球語が文語をより理解するための有効なツールになるということを論じる。

2010年3月11日

ジョシュア・フォーゲル博士:「後年のマテリアル・オブジェ:建武中元二年の神秘的な金印」

建武中元二年に後漢の光武帝より現日本、倭奴国の朝賀使が賜った金印は、1784年に農民により発掘されるまで失ったとされていた。本講義では、「金印」に関するアジア本土と日本の文化的・政治的関係を論じる。

2010年10月1日

ケラー・キンブロー博士:「素晴しくも残酷なフィクション:仏説法・物語と17世紀日本の戯曲の奇跡」

本講義では、17世紀の仏説法と古人形浄瑠璃の歴史について論じる。素晴しくも残酷な江戸初期の舞台を視覚的な表現と17世紀の風刺画に見られる慣例的な奇跡、疑問、超人芸などを照らし合いながら解明する。

[Continued from Cover]

以下は日本とカナダの参加学生リストです。

カナダ側

ダイアン・コナーズ (アルバータ大学)
リンジー・サットン (アルバータ大学)
ジェッフ・カーショー (アルバータ大学)
ジェニファー・マックゲトリック (アルバータ大学)
クリステン・ハウスマン (アルバータ大学)
アビー・ダチョ (クイーンズ大学)
マーク・オスレー (クイーンズ大学)
ジェニファー・ウィタカー (プリンス・エドワード島大学)

ソフィア・ラヴァーン (マニトバ大学) ラージュ・マハラージュ (マニトバ大学) ビクトリア・ラター (マニトバ大学) ブルノ・デーパート (オタワ大学) アンジェル・シア (オタワ大学)



Student presentations at the Canadian Embassy in Tokyo, February 22, 2010.

日本側

市川健作 (明治大学) 北出洋太 (明治大学) 坂本壮平 (明治大学) 遠藤珠美 (ソフィア大学) 王 櫻未 (ソフィア大学) 樋口容子 (津田塾大学) 青山春菜(津田塾大学) 大原真紘(慶應大学) 本多正樹(慶應大学) 田口弘樹(立命館大学) 大西未夏(立命館大学) 倉田郁也(桜美林大学)

吉田智明(北海道大学) 木場智弘(名古屋大学) 小川優人(関西学院大学) 藤田悦光(法政大学) 吉田真理(大阪大学)

参加学生のコメント:

JACACのフォーラムで、私は日本の環境への取り組みについて新しい知識を得ることが出来ました。日本の環境対策は、自分のこれからの環境学研究に貢献するためのインスピレーションを受けました。今回の経験を通し私は、この美しい国へのより一層の興味を持つようになりました。

- クイーンズ大学、 マーク・オスレー

日本・カナダ学術コンソーシアムは、私の大学生活で得た中でもベストな経験の一つです。今回のフォーラムで、専門分野や文化背景を持つ他大学の人々と環境問題について意見を交換することができました。議論や意見交換は自分一人でできないことであり、そういう意味で、フォーラムへの参加は自らの考えを深める良い機会でした。今回の経験は、素晴しく洗練されたものでした。そして、このフォーラムを今後自らの教養を高めたい他の学生にも勧めたいです。

SOURCE TO THE STREET OF THE ST

Her Imperial Highness Princess Takamado is surrounded by students eager to converse with her during the JACAC Student Forum reception at the Canadian Embassy, February 22, 2010.

- ソフィア大学、 遠藤珠美

今回のフォーラムが大成功に終わったのを受け、今後はこれを基盤として、来年以降のフォーラムを継続してきたいと思っています。まず、来年は、カナダのエドモントン市において、アルバータ大学高円宮日本センター主催でフォーラムを企画中です。約30名の日本のカナダの大学生が2011年2月21日から27日までの間、学術界及びや産業界の専門家の講義の受講、グループ・セッション、そしてカナダの文化を体験をするために集まります。

日本・カナダ学術コンソーシアムの詳細やメンバー機関についての情報は、ウェブサイトをご覧ください。 http://www.ptjc.ualberta.ca/Consortium.cfm.